



統計スポーツ情報

No. 16

10.7.31 福井県総務部情報政策課

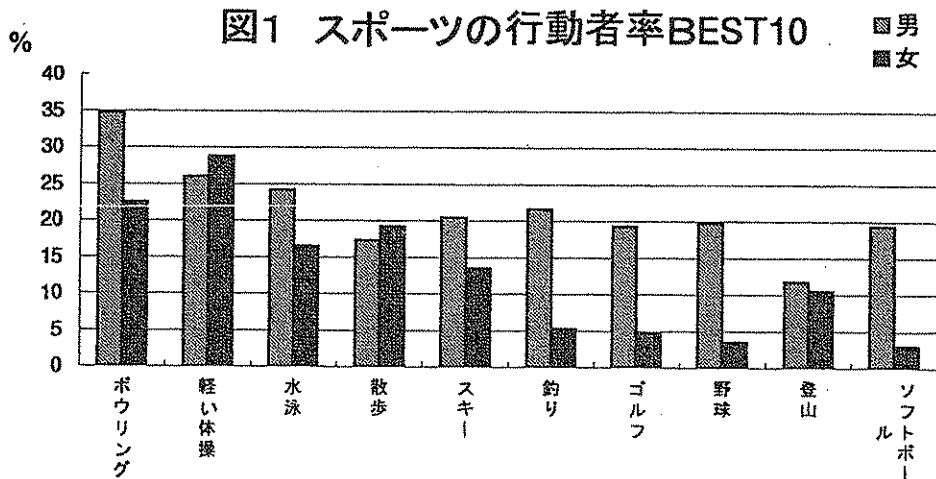
スポーツ行動者率はボウリングが1位

平成8年社会生活基本調査によると、過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った者は476千人で、15歳以上人口674千人に占める割合（行動者率）は70.6%（全国74.5%）となっている。

このうち、男子は15歳以上人口324千人のうち251千人で行動者率77.4%（全国80.5%）、女子は15歳以上人口350千人のうち225千人で行動者率64.3%（全国68.8%）と男子の行動者率が高い。

年齢階級別に行動者率をみると、男女とも若年層で高く、年齢が高くなるにつれて行動者率は低下し、特に男子より女子の低下幅が大きい。

種類別に行動者率をみると、「ボウリング」が191千人（28.4%）と最も高く、「軽い体操」が185千人（27.5%）、「水泳」が136千人（20.2%）となっている。男女別にみると、男子は「ボウリング」「軽い体操」「水泳」の順に高く、女子は「軽い体操」「ボウリング」「運動としての散歩」の順である。（図1）



また、過去1年間に「趣味・娯楽」を行った者は590千人で、行動者率は87.6%（全国90.1%）となっている。行動者率を平成3年（91.2%）と比較すると、3.6ポイント減少している。このうち、男子は294千人で行動者率90.6%（全国91.3%）、女子は296千人で84.7%（全国88.9%）と、男子の行動者率が高い。

種類別にみると、「ドライブ」が325千人（48.3%）と最も多く、次いで「レコード・テープ・CDによる音楽鑑賞」296千人（43.9%）、「カラオケ」が289千人（42.9%）、「園芸・庭いじり」220千人（32.7%）、「遊園地・動植物園・博覧会等の見物」217千人（32.2%）、「趣味としての読書」212千人（31.5%）となっている。（図2）

